



# ims

通信



2024年 12月号

2024年もいよいよ残すところあと少し！年末のこの時期、いかがお過ごしでしょうか  
1年間のいろいろな思い出を振り返りつつ、  
「今年のことは今年のうちに！」とやらなければいけないことに追われる、  
そんな落ち着かない気持ちでいる人も多いことでしょう。  
とはいえ、1年に1度しか訪れないこの時期。  
落ち着いた気持ちで、年末ならではのムードに少しでも浸りたいものですよね！  
ということで今回は、1年最後の日「大晦日」の雑学についてご紹介します。

## 《大晦日の起源》

大晦日とは1年間の最終日である12月31日のことをいいます。  
大晦日の起源は古く平安時代まで遡り、  
その頃の大晦日は「正月に迎え入れる歳神様(としがみさま)を  
まつるための準備の日」として認識されていました。  
農作物の豊作をもたらしてくれるとされる歳神様はとても大切にされ、  
気持ちよく歳神様を迎え入れられるようにと、  
各家庭では大掃除などを行なったと言われていました。

## 《なぜ「大晦日」と呼ぶの？》

「大晦日(おおみそか)」の語源は元々「晦日(みそか)」からきています。  
「晦」とは月の満ち欠けにおける「月が隠れた状態」を意味する言葉であり、  
月の満ち欠けで暦が決まっていた旧暦の時代には、  
新月が1日、晦の日が30日(晦日)とされていたようです。  
新暦になると1か月の最終日が31日になる月も出てきたこともあり、  
晦日は「月の最終日」という意味に変化。  
1年に12回ある「晦日」の中でも、  
1年の集大成である12月には「大」をつけて  
「大晦日」と呼ぶようになったのが由来です。

## 【七十二候】

七十二候(しちじゅうにこう)は、  
二十四節気をそれぞれ3つずつの季節に分けたもので1年では72の季節になります。  
自然に目を向けると、四季折々の季節の移り変わりを感じることができます！  
毎月一緒に季節の移り変わりを感じましょう！

《今月の七十二候》2024年12月31日～2025年1月4日 (雪下出麦ゆきわたりてむぎのびる)

一面に覆われた雪の下で麦が芽を出す季節、ということです。麦の収穫は春から初夏。  
その実りの時に向けて、麦に限らず植物、昆虫、動物、そして人間も、いまは力を蓄える期間と  
なっています。雪下出麦は二十四節気の冬至の末候です。この時季を終えると、二十四節気では  
小寒(しょうかん)を迎えます。



インスタ、ブログはじめました!!

ims 社員の日々の出来事やつぶやき、  
情報提供など様々な内容を配信しております。  
毎日更新中! 下記よりご覧いただけます!

ブログ



インスタ



災害時・緊急時含め弊社から  
情報提供をさせていただきます。

メールアドレス

ご登録の際は、

本文へお名前(フルネーム)をご入力  
下さい!

弊社HP



メールアドレス



〒239-0835 横須賀市佐原1-10-1  
有限会社 ims (アイエムエス)  
TEL:046-838-5522 FAX:046-838-5533